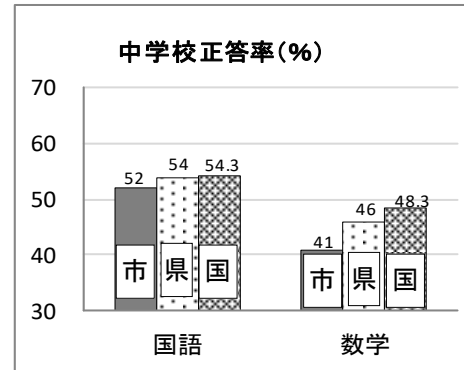
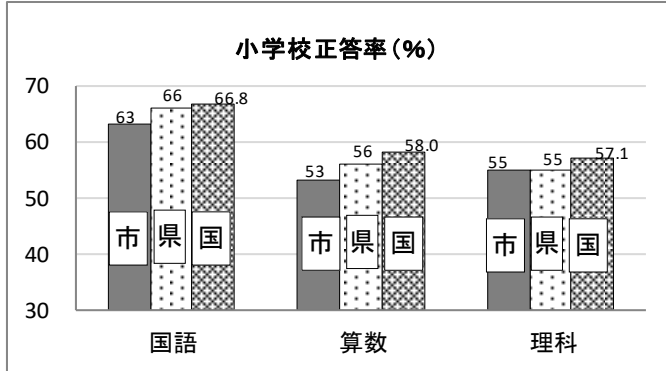


令和8年度 十日町市小中一貫教育実施計画 <資料編>

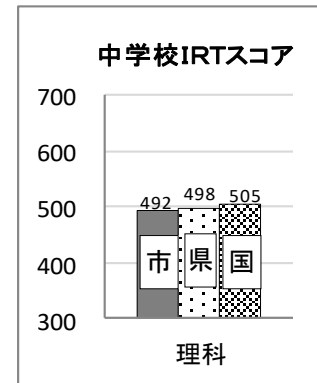
1 十日町市の三つの教育方針に関するデータ

(1) 学力の向上について

○令和7年度全国学力学習状況調査における国語，算数・数学，理科の正答率
 (第三次十日町市総合計画前期基本計画 R12年度末目標値 小・中学校とも全国正答率±0)

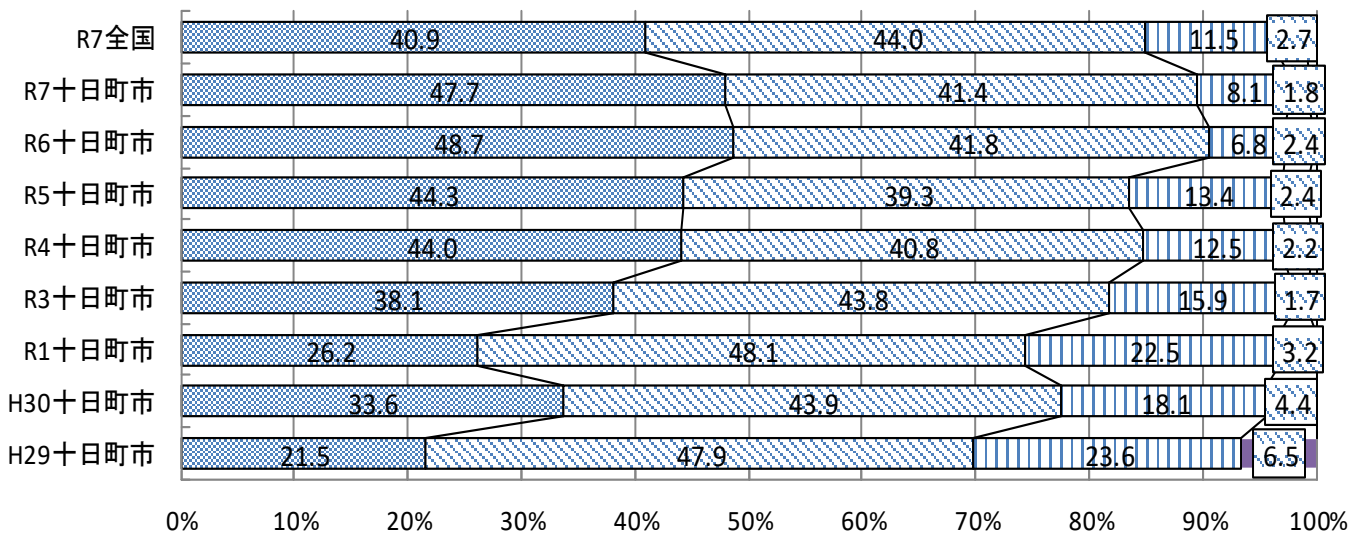


小学校の国語，算数及び中学校の国語，数学の数値は正答率ですが，中学校の理科は今回からCBT（情報端末を使った試験）となり，IRTスコアを利用しています。IRTとは，項目反応理論のことで国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。これを用いると，幅広い領域内容での調査が可能となり，学力の経年変化を把握できるようになります。

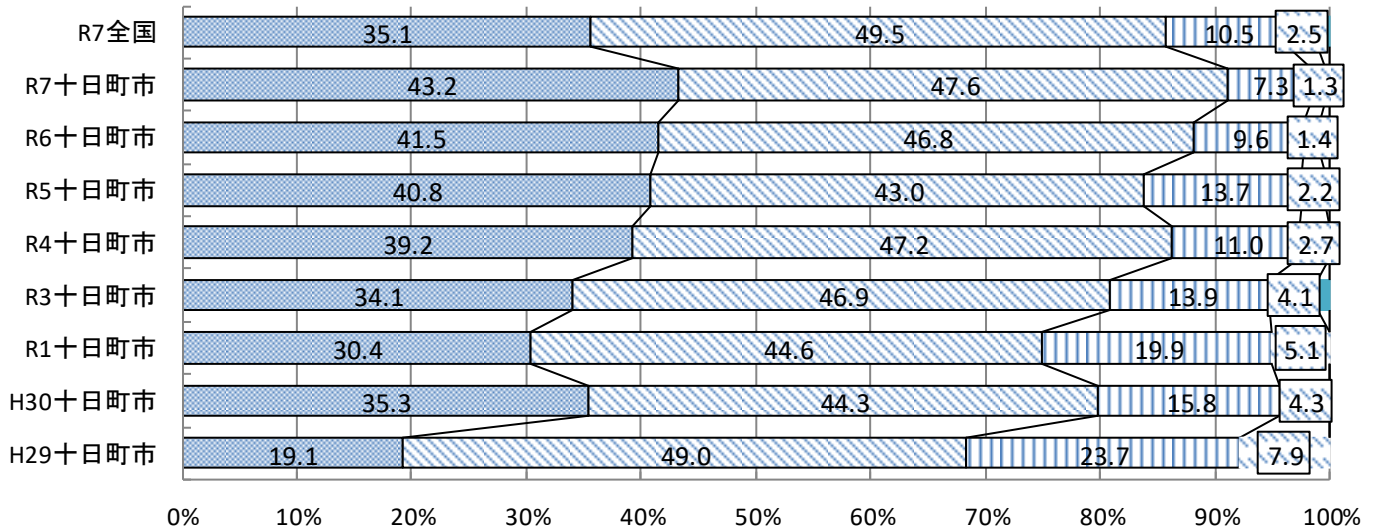


【小】学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか

- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば当てはまる
- 3 どちらかといえば当てはまらない
- 4 当てはまらない
- 5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない。



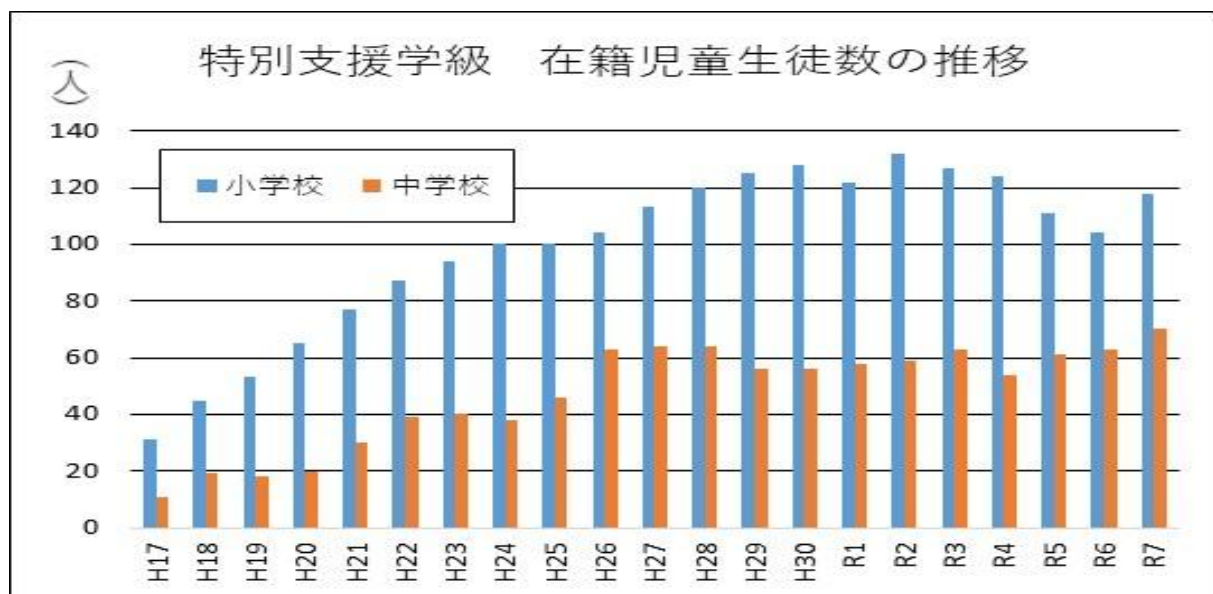
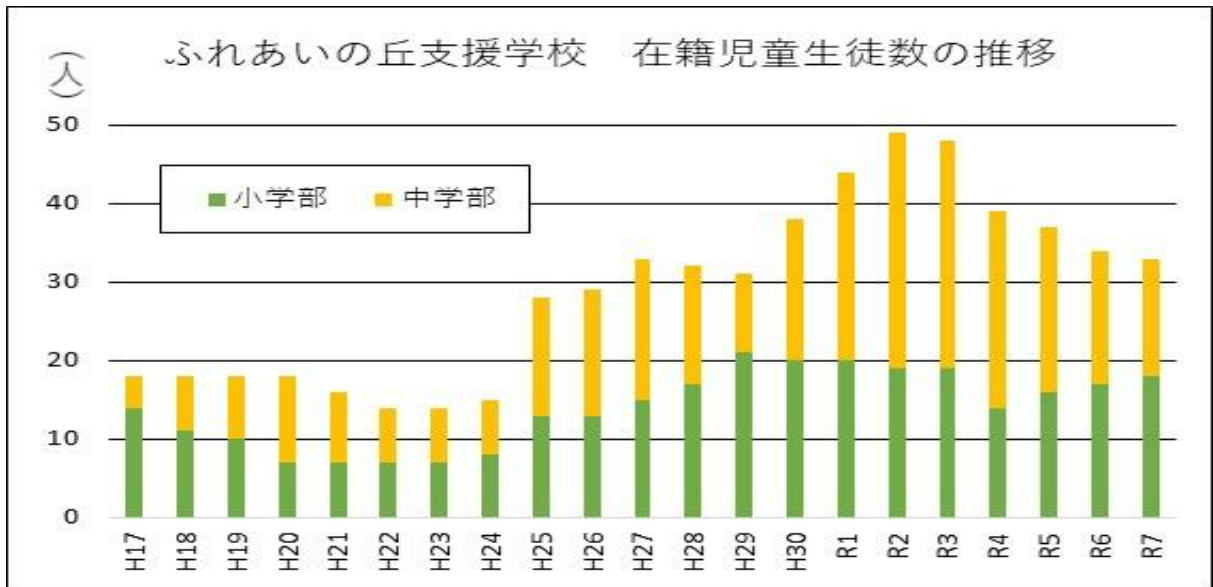
【中】学級の生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



(2) 特別支援教育の状況について

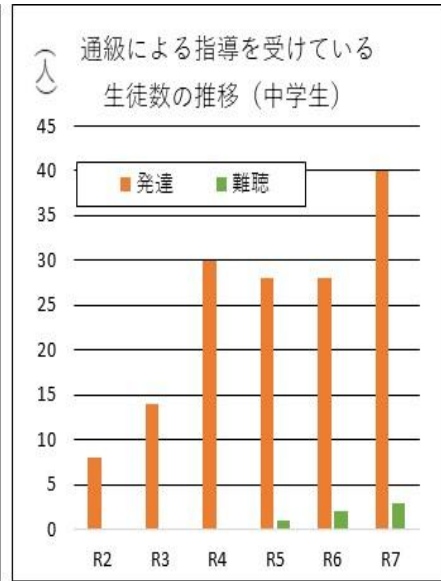
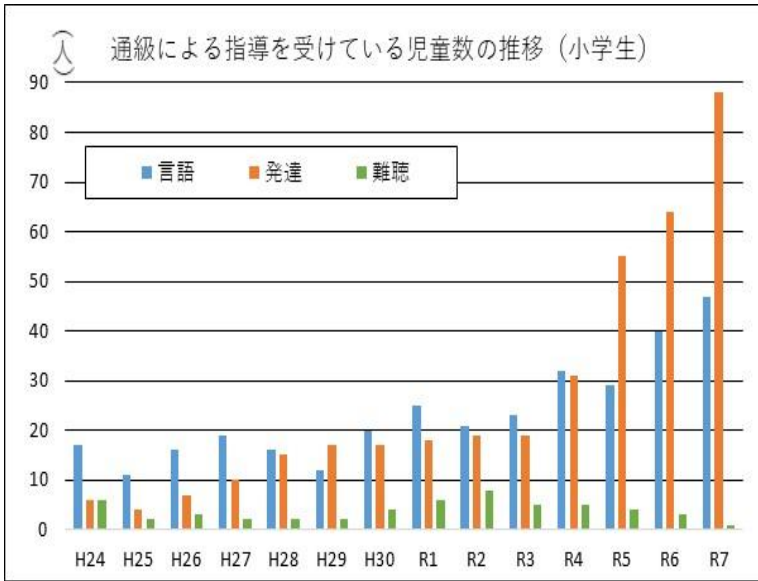
① 特別支援学校・特別支援学級児童生徒数の推移

※各年度5月1日現在



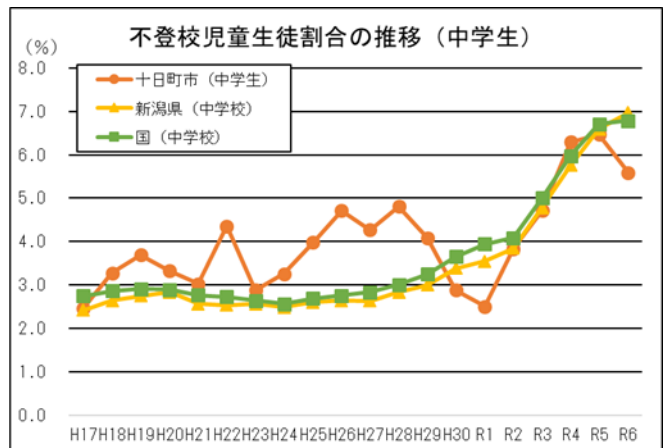
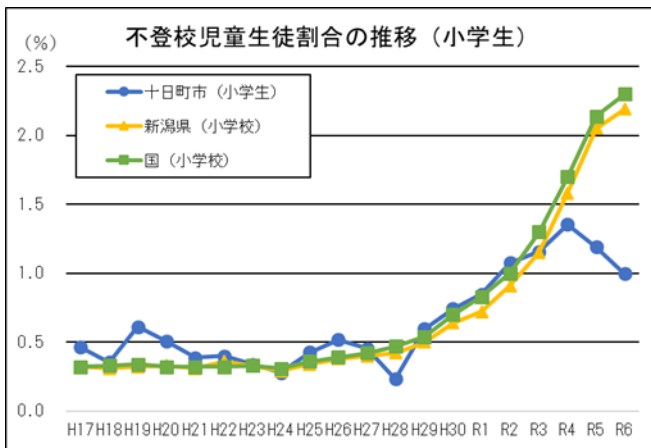
② 通級による指導を受けている児童生徒数の推移

※各年度5月1日現在

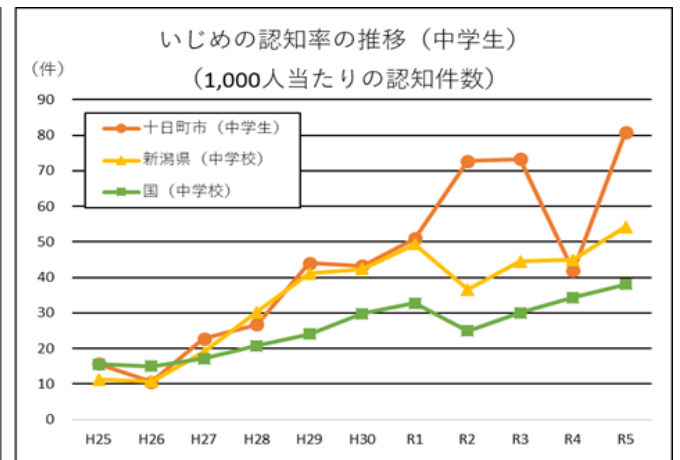
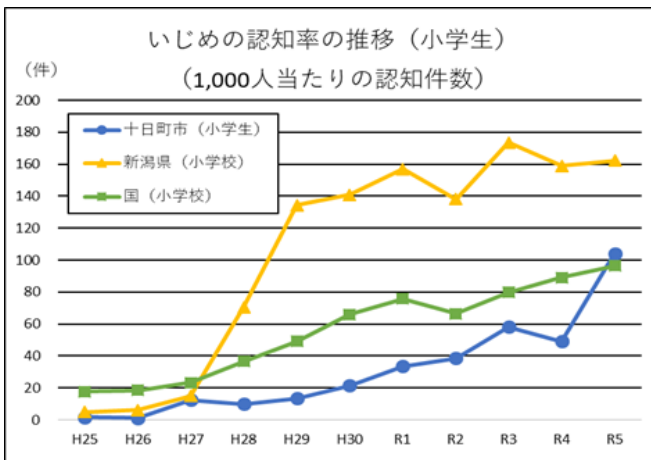


(3) 不登校の減少・いじめの認知について

① 不登校児童生徒の状況



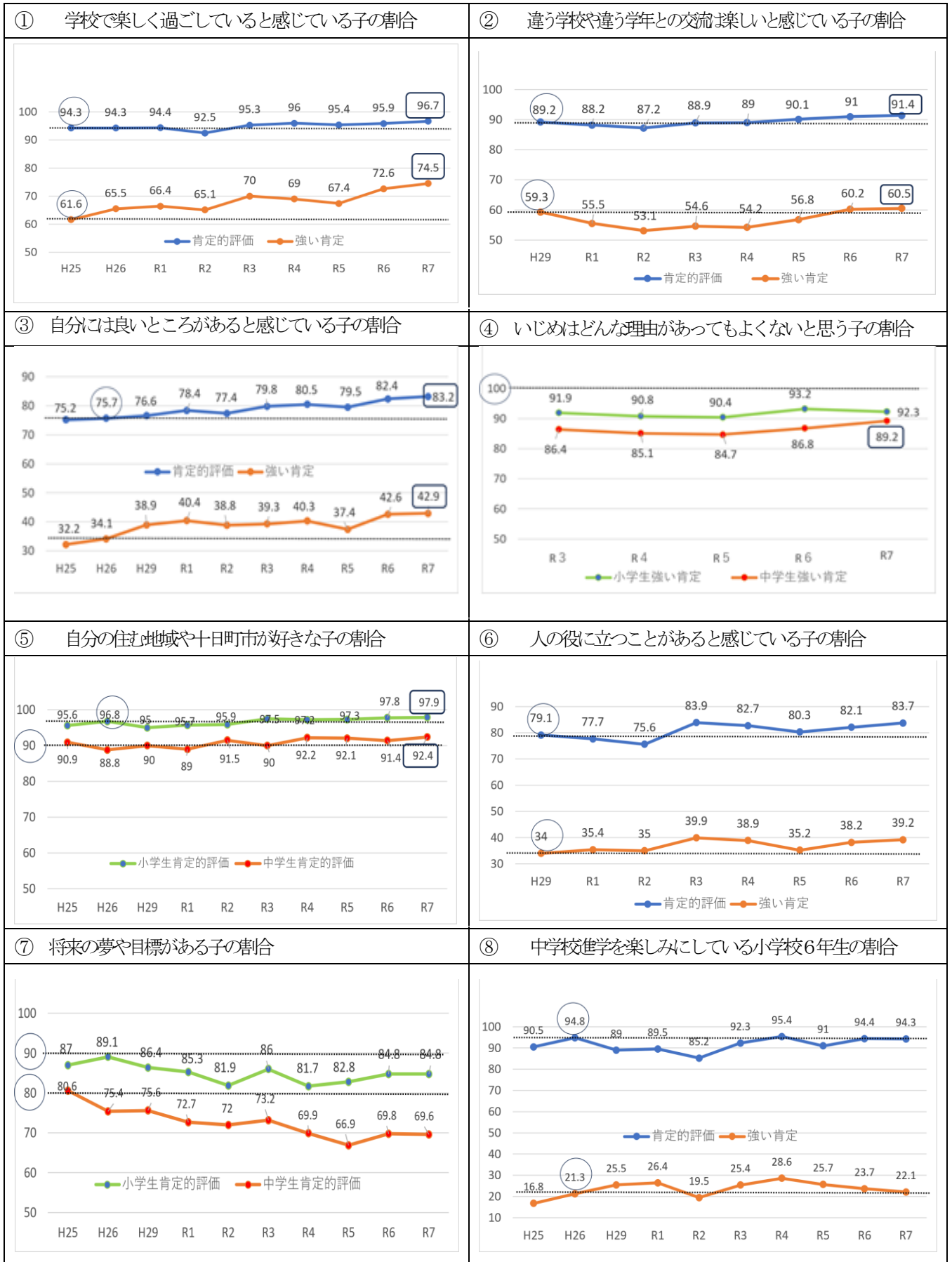
② いじめの認知率 (1,000人当たりの認知件数) の推移



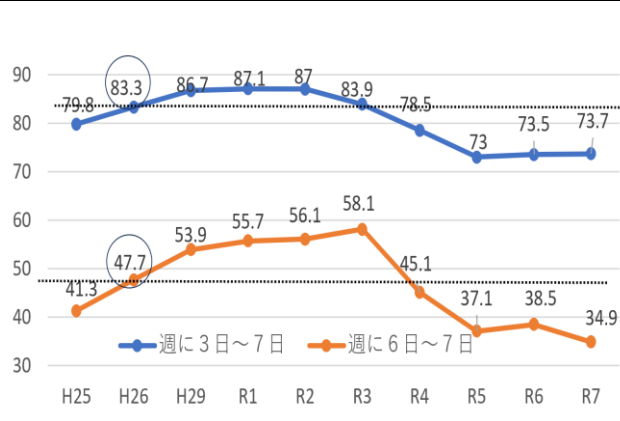
2 取組評価（令和7年度アンケート調査）の結果

< 実施年月 > 児童・生徒・教員 令7年11~12月 保護者：令和7年12月

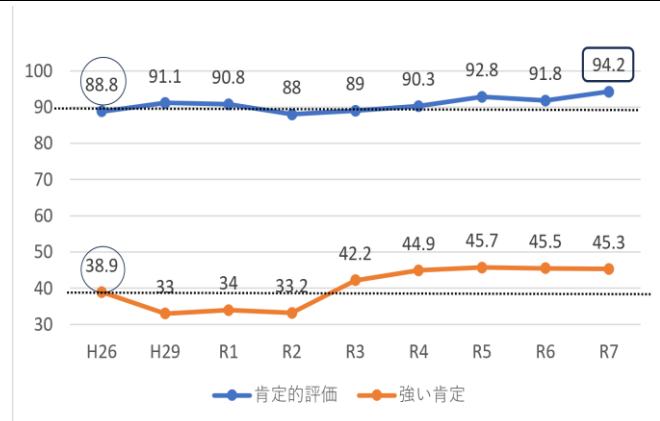
○囲み：評価基準値 □囲み：令和7年度に過去最高値を示したもの



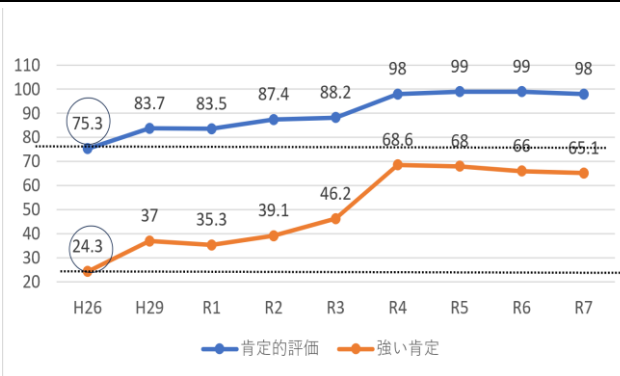
⑨ 家庭学習に取り組む子の割合



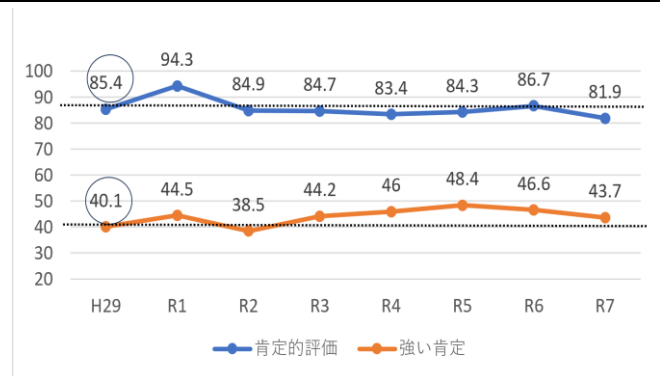
⑩ 小中一貫実践を意識して取り組んでいる教職員の割合



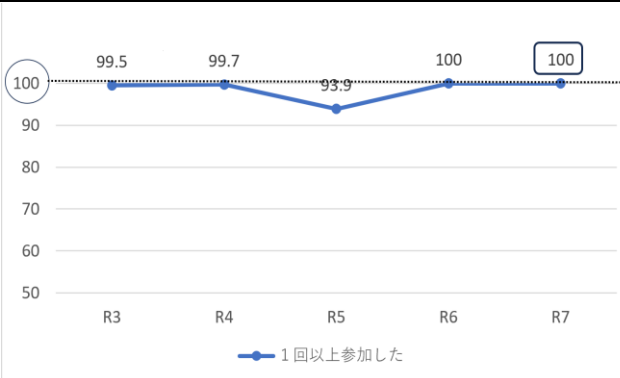
⑪ 個別の指導計画を作成または利用し、改善を加えながら個別指導している教職員の割合



⑫ 地域教材や地域人材を積極的に取り入れている教職員の割合



⑬ 今年特別支援教育の研修に1回以上参加した教員の割合



・項目1〜11は、「①そう思う」「②大体そう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の四者択一でアンケートをとった。

肯定的評価…「①そう思う」「②大体そう思う」の和

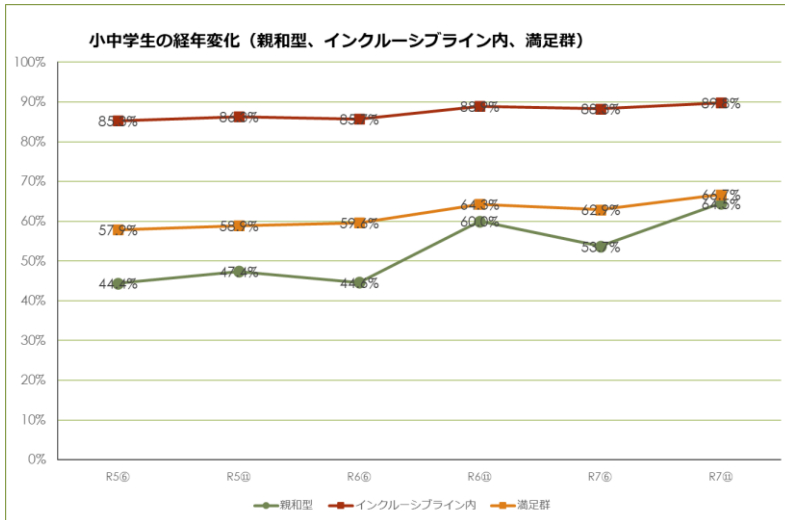
強い肯定…「①そう思う」

・項目12は、「参加した」「参加していない」の二者択一でアンケートをとった。

- ① H26年度より増える…小中一貫教育本格実施のH26年度からの増減を見る。
- ② H29年度より増える…平成29年度の「本格実施3年間の取組検証」後に付け加えられた項目など。H29年度からの増減を見る。
- ③ 項4は、「そう思う」100%となること、項目12は「参加した」が100%を維持することを目指す。

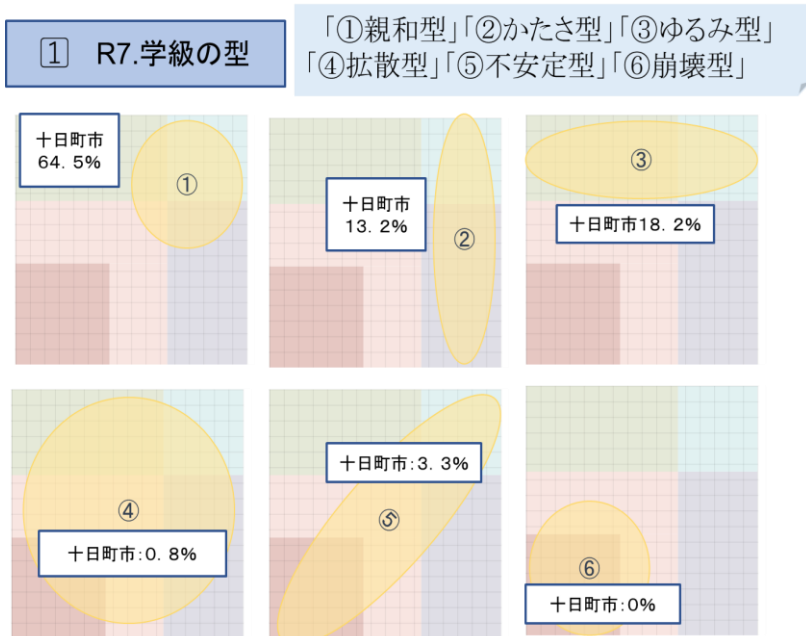
3 居心地のよい学級づくりの取組

(1) WEBQUから分かる3つの指標の経年変化



- ① 親和型の学級の出現率
(10人以上の学級)
- ② インクルーシブライン内の児童生徒の割合
- ③ 満足群に属する児童生徒の割合

(2) 令和7年度の十日町市内の学級の型の割合（型判定ができるのは10人以上の学級）



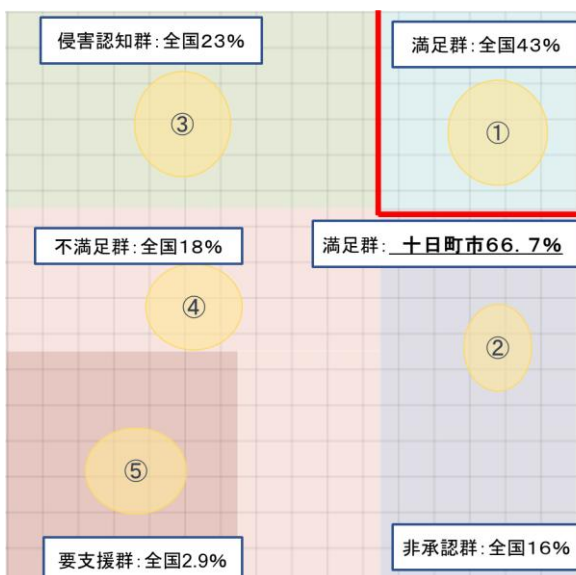
<安定度>

学級が生活指導面で安定しているとは、学級集団の規律としての「ルール」や親和的な人間関係である「リレーション」の確立が前提となり、集団に所属するメンバーがチームとして各自の役割を理解し行動できている度合いを示します。

<活性度>

学習指導面で活性化しているとは、個人の考えも、メンバー間の相互作用も大事にされ、自由な発想を積極的に全体の考えとして取り入れ向上しようとする度合い、つまりメンバー同士の建設的な相互作用の度合いが高いことを示しています。

(3) WEBQU学級満足度尺度



<満足群とは>

満足群とは、WEBQU アンケートの結果、プロット図の赤線で囲まれた部分のことです。プロット図では 右上 に位置し、学級生活が充実しており、心理的に安定した子どもたちです。学級集団において良好な人間関係と教師との関係が築かれている状態を指します。この状態では、児童生徒が集団活動や学校生活に意欲的に取り組むことができ、全体指導を通じた指導が可能です。

4 小中一貫教育中学校区10ブロック

(令和8年4月1日現在)

No.	中学校区	タイプ	小学校	学級数(※) 児童数	中学校	学級数(※) 生徒数
1	拡大中学校区 (4小2中)	分離型	十日町	8学級(3) 194人	十日町	6学級(2) 151人
			東	6学級(3) 180人		
			中条	6学級(2) 171人	中条	6学級(2) 148人
			飛渡第一	3学級(0) 10人		
2	南中学校区 (2小1中)	分離型	川治	11学級(2) 239人	南	7学級(2) 227人
			西	9学級(2) 215人		
3	吉田中学校区 (2小1中)	分離型	吉田	4学級(0) 24人	吉田	3学級(2) 35人
			鏡島	4学級(2) 36人		
4	下条中学校区 (1小1中)	併設型	下条	6学級(2) 87人	下条	3学級(1) 63人
5	水沢中学校区 (1小1中)	分離型	水沢	7学級(2) 175人	水沢	3学級(2) 82人
6	川西中学校区 (3小1中)	分離型	千手	6学級(4) 83人	川西	3学級(3) 101人
			上野	5学級(1) 43人		
			橘	4学級(2) 42人		
7	中里中学校区 (1小1中)	分離型	田沢	6学級(3) 174人	中里	3学級(2) 70人
8	松代中学校区 (1小1中)	分離型	松代	6学級(2) 72人	松代	3学級(2) 30人
9	松之山中学校区 (1小1中)	一体型	松之山	4学級(0) 40人	松之山	3学級(1) 27人
10	ふれあいの丘 支援学校	一体型	小学部	5学級(重複学級・訪問含む) 21人	中学部	3学級(重複学級含む) 14人

※学級数：()内数字は特別支援学級数で学級数には含まない